

平成20年度（財）JKA補助事業の概要

補助事業名：平成20年度 基礎素材産業を支える中小企業の振興に関する調査

補助事業者名：(財) 四国産業・技術振興センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

四国の産業構造は、鉄鋼、非鉄金属、化学などの基礎素材型産業の比率が高いという特徴がある。これらの基礎素材型産業のうち鉄鋼・非金属に着目すると、大手の素材供給企業と、その素材に加工を施し付加価値を高める素形材企業から成り立っている。特に後者は、サポーティングインダストリー企業を中心に様々な基盤技術の組み合わせ・応用により、国内はもとより全世界へ多種多様な高度部材を供給し、幅広い分野を支えている。一方、部材・部品は最終製品の中に組み込まれ、どの素形材加工技術がどの最終製品の競争力に寄与しているか等、四国の素形材企業(サポーティングインダストリー企業)の実態は明らかでない。

そこで、素形材や機械加工に携わる中小企業の技術の実態を把握するとともに、直面する課題等を調査・整理し、これら企業の基盤技術の高度化及び産業活性化について検討し、基礎素形材産業のさらなる発展につながる素形材産業の育成、ひいては四国の機械産業の振興に資する調査とする。

(2) 実施内容等

(実施内容)

四国の機械産業の振興のため、以下についてとりまとめた。

- ①四国の中小企業(サポーティングインダストリー企業)に対するヒアリング調査・分析
- ②四国外におけるサポーティングインダストリー中小企業等への調査
- ③基盤技術の高度化等について検討

<四国における基礎素材産業振興の方向性>

- | |
|---|
| <p>○競争力強化及び基盤技術の高度化の観点から</p> <ul style="list-style-type: none">・ コア技術及びその戦略の明確化・ 熟練技能の伝承と人材育成・ 設計・製造プロセス高度化のための技術力工場・ 地域固有メリットの最大限の活用・ 地域共同生産体制等の構築・ 顧客ニーズに対応したビジネスモデルの構築・ 省エネ・CO2削減及び省資源化のための取り組み <p>○販路開拓・拡大及び促進の観点から</p> <ul style="list-style-type: none">・ 同業/異業種等との連携強化・ 積極的な情報発信とアピール |
|---|

2. 予想される事業実施効果

産業界自身の様々なネットワーク強化や技術の高度化を推進するとともに産業界をとりまく国、自治体、公設試験研究機関、産業技術総合研究所、大学、支援財団などが果たすべき役割及び連携強化などにより、四国の機械産業の振興に資する。

3. 本事業により作成した印刷物等

報告書；基礎素材型産業を支える中小企業の振興に関する調査(素形材企業を対象として)
冊子；四国の基礎素材型産業を支える中小企業のものづくり

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人四国産業・技術振興センター(シコクサンギョウギジュツシンコウセンター)

住所：760-0033
香川県高松市丸の内2番5号

代表者名：理事長 池田 修(イケダ オサム)

担当部署：産業調査部(サンギョウチョウサブ)

担当者名：課長 窪内 雄二(クボウチ ユウジ)

電話番号：087-851-7083

FAX 番号：087-851-7027

U R L：<http://www.tri-step.or.jp/>

※この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。